

山武郡市広域行政組合の財務書類と概要

山武郡市広域行政組合（以下「行政組合」という。）の財務書類は、平成27年1月の総務省からの要請に基づいた「統一的な基準」で作成したものです。

また、財務書類の作成にあたり、固定資産台帳の整備を行っています。

なお、当該財務書類は、行政組合と連携協力して行政サービスを実施している関係団体を1つの行政サービス実施主体とみなして作成する連結財務書類で作成しています。

行政組合の連結対象団体は、以下のとおりです。

- ・千葉県市町村総合事務組合

財務書類（4表）の名称と概要

● 貸借対照表

行政組合が、財産や債務を有するかについての情報を示した書類です。

行政サービスを提供するために形成してきた資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で形成してきたかを表したものです。

資産の額と負債・純資産の額の合計が一致し、左右の額のバランスがとれた対照表となることから、バランスシートとも呼ばれています。

平成30年度	
【資産】 行政組合が行政サービスを提供するために保有している財産 96億8,247万円	【負債】 資産の財源のうち将来負担する部分 47億6,861万円
	【純資産】 資産の財源のうち現在までに負担した部分 49億1,386万円

$$\text{【資産】} = \text{【負債】} + \text{【純資産】}$$

● 行政コスト計算書

行政組合の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を、目的別、性質別に示した書類です。

1年間の行政活動のうち、人的サービスや給付サービスなど資産形成につながらない消費的なサービスが大きな比重を占めています。消費的なサービスに伴うコストの業務費用（人件費・物件費・その他の費用）移転支出的な費用を表しています。

また、それぞれのコストに充てられた使用料・手数料・負担金などの財源を表しています。

平成30年度	
【経常費用】合計	44億1,482万円
業務費用	42億2,940万円
移転費用	1億8,542万円
【経常収益】合計	6億3,013万円
使用料及び手数料	4億9,908万円
その他	1億3,105万円
【純経常行政コスト】	37億8,469万円

【経常費用】 - 【経常収益】 = 【純経常行政コスト】

● 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産（資産から負債を差し引いた残余）が、1年間にどのように増減したかを示した書類です。

● 資金収支計算書

歳計現金の流れを示し、収支を性質に応じて、「業務活動収支」、「投資活動収支」及び「財務活動収支」という3つの区分（活動）に分けて表示した書類です。